

愛臨技学術部研究班活動報告書

所属：輸血検査研究班 提出日：令和4年2月26日 報告者：片井 明子

行事種別	研究会		行事番号	210015065	
開催日	令和 4 年 2 月 12 日(土)				
時 間	開 始	15:00	終 了	17:30	
場 所	Web 配信 (Web ライブ)				
テーマ	精度管理報告会～輸血検査の標準化について考えよう～				
生涯教育履修点数	基礎教科 20 点				
司 会	藤田医科大学 松浦 秀哲				
講 師	講師 1:2021 年度精度管理報告 JA 愛知厚生連 安城更生病院 山本 喜之 講師 2:コンピュータークロスマッチーその有用性と導入にあたっての注意点ー 大阪市立大学医学部附属病院 藤野 恵三 講師 3:『輸血のための検査マニュアル』改定のポイント 近畿大学病院 井手 大輔				
内 容	テーマ精度管理報告会～輸血検査の標準化について考えよう～とし、まずは 2021 年度輸血検査精度管理報告にて愛知県の結果、課題と今後についてお伝えし、そのあとに、標準化についての 2 講演開催いたしました。1 つ目はタスクシフトシェアリングで関心が高くなってきておりますコンピュータークリスマッチについて、用手法や自動機で交差適合試験を実施せずコンピュータークロスマッチの運用でいかに精度を維持するかなど、コンピュータークロスマッチを導入され 10 年以上の運用実績のあるご施設の講師よりご講演いただきました。また輸血検査は用手法も多く、標準化を維持する上でマニュアルは非常に重要ですが、輸血細胞治療学会から出されている『輸血のための検査マニュアル』の作成に携わってみえる輸血検査技術講習委員長より今年度改定された箇所についてわかりやすくご講演いただきました。当初現地開催と WEB ライブにハイブリッド開催を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症感染拡大のため WEB ライブ開催のみへ変更させていただきましたが、全国より多くの方々に参加していただきました。いずれの施設にとって役立つ内容を共有することができたと思われます。				
参加者	総数：108 名(会員 106 名(内県外会員 31 名)、賛助会員 2 名)				
共催、後援など	日本輸血細胞治療学会共催				